

「暮らし」支えるまち

12.防災に関する施策

■ 施策評価シート 12-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	防災
基本方針	自助・共助による防災対策の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	12-01-①	施策名	自主防災体制の確立と市民意識の高揚	

施策の概要
自主防災組織の育成等を進め、防災訓練や地域協働での防災教育、また、住宅耐震化の支援等を進めます。また、災害時において支援を必要とされる避難行動要支援者の支援体制を事前に決定するなど、地域と一体となって防災対策を進めます。

成果指標(単位)	自主防災組織数(団体)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		210	211	212	213
実績値	209	215			

成果指標実績に対するコメント
自主防災組織数の実績値は、目標値を5件上回り、目標値を達成することができた。新たにマンション管理組合を自主防災組織事業補助金の対象としたことに合わせ、自主防災組織の設立支援に取り組んだことにより、組織数が増加したものとする。

施策の達成度評価
自主防災組織への補助制度を拡充した結果、備品や消耗品の購入、防災訓練が実施され、地域の備蓄の強化および防災意識の向上が図られた。民間事業者により、マンションの建設や宅地の開発が進められているので、町内会の設立と合わせ、自主防災組織の設立を積極的に促す必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」があり、偏差値は60を上回る結果であった。 本市では、自主防災組織への支援を進めており、上述のとおり偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、自主防災組織の取組を推進し、共助力の向上に引き続き取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
自主防災組織への補助制度の拡充およびマンション管理組合の自主防災組織設立支援により、共助力が高まっている状況ではあるが、一部の戸数が多いマンションにおいて自主防災組織が未設置の状況であるので、積極的な設立支援に取り組む。
自主防災組織の取組は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、支援を継続するとともに、マンション管理組合における自主防災組織設立の取組を推進する。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自主防災組織育成事業	危機管理課	○	自主防災組織への補助制度を拡充した結果、地域の備蓄の強化および防災意識の向上が図られたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
震災避難経路整備促進事業	建築政策課
民間建築物耐震化助成事務	建築政策課
自主防災組織出初式開催事業	危機管理課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】											
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2		3.3						
		偏差値	62.6		66.0						
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】											備考
客観指標No. (令和7年度)			66	67	68	69	70	72	73	75	

■ 施策評価シート 12-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	防災
基本方針	災害に強いまちづくり		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	12-02-①	施策名	消防体制・基盤の充実	

施策の概要
消防・防災体制に係る人的資源の充実を図るとともに、消防団装備品の整備を進めるなど、迅速・確実な消防活動の確保に努めます。

成果指標(単位)	実消防団員数／定数(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	83	84	85	86
実績値	82.8	87.2			

成果指標実績に対するコメント
消防団員充足率の実績値は、目標値を4.2ポイント上回り目標を達成することができた。地域での各団員による勧誘、広報くさつ特集記事での消防団活動の紹介および団員募集、SNSでの情報発信等を行ったことで、新規団員が入団したものと考えられる。

施策の達成度評価
新規団員の獲得に向けた取り組みは一定の成果が見られた。消防団は、災害に強いまちづくりに欠かせない存在であることから、団員を確保できるよう一層の広報活動に取り組む必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」があり、偏差値は60を上回る結果であった。 本市では、消防団員の確保および装備の充実を進めており、上述のとおり偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、消防力の強化に引き続き取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、消防団の資機材・消防車両の計画的な整備や消防水利の適切な維持管理、機能別消防団員の拡充に取り込みことで、より一層の団員確保に努める。
消防団の取組は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、消防団の装備の充実と団員確保に一層取り組む。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
湖南広域行政組合負担金事務(消防費)	危機管理課	○	消防・防災体制に係る人的・物的資源の適正な管理を行うことで、迅速な消防・防災活動につなげることができたため。
消防団活動事業	危機管理課	○	消防団装備の計画的な整備を行ったため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
コミュニティ防災センター運営事業	危機管理課
消防車両等整備事業	危機管理課
消防水利維持管理事業	危機管理課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】											
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2		3.3						
		偏差値	62.6		66.0						
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】											備考
客観指標No. (令和7年度)			66	67	68	69	70	72	73	75	

■施策評価シート

12-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	防災
基本方針	災害に強いまちづくり		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	12-02-②	施策名	地域防災体制・基盤の強化	

施策の概要

災害時に即応できる防災体制と情報伝達体制等を強化させるほか、計画的な備蓄確保や地域ごとの防災拠点の整備等に努めます。

成果指標(単位)	「災害に強いまちづくり」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	22.5	23	23.5	24
実績値	22.2	24.7			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「災害に強いまちづくり」に満足している市民の割合は、目標値を2.2ポイント上回り、目標を達成することができた。大型備蓄倉庫や広域避難所の備蓄倉庫の新設および資機材の充実を進めた結果、満足度が上昇したものとする。

施策の達成度評価

国の交付金を活用しながら備蓄の強化を進めた結果、避難所の衛生環境等の向上が図ることができた。引き続き、大規模災害に備え、計画的に備蓄を進めるとともに、災害に即応できる体制の強化に取り組む必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」があり、偏差値は60を上回る結果であった。
本市では、計画的な備蓄を進めており、上述のとおり偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、市民の安心につながる防災対策に引き続き取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

計画的な備蓄等により、防災に対する市民の満足度が高まっている状況ではあるが、近年の激甚化・頻発化する災害に迅速かつ確に対応するためには、災害対策本部の機能向上に取り組む必要があることから、(仮称)危機管理センターの建設を検討する。

防災の取組は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、計画的な備蓄を進めるとともに、(仮称)危機管理センターの建設を検討する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防災対策事業	危機管理課	○	大型備蓄倉庫や広域避難所の備蓄倉庫の新設および資機材の充実を進めることができたため。
水防訓練事業	河川課	○	水防訓練等を実施し、水防活動の強化や県・消防等との連携強化を図ることができたため。
大雨警報警戒体制事業	河川課	○	気象情報をリアルタイムに取得し、迅速な水防活動のための体制を整えることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3					
		偏差値	62.6	66.0					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考	
客観指標No. (令和7年度)		66	67	68	69	70	72	73	75	

■施策評価シート

12-03-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	防災
基本方針	治水対策の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	12-03-①	施策名	河川・排水路の整備	

施策の概要

雨水排水能力の向上と浸水の防除を図るため、河川・排水路の整備や適切な維持管理を行うとともに、一級河川の早期整備や適切な維持管理の実施に向け、管理者である県への要望活動に取り組みます。

成果指標(単位)	要望件数に対する実施率(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		93.4	94.5	95.6	96.7
実績値	92.3	96.2			

成果指標実績に対するコメント

いただいた要望に対して適宜対応を行い、また必要な改修時期に予算措置を行うことにより、実績値が目標値を上回る結果となった。

施策の達成度評価

各町内会の要望に対する河川・排水路の整備や適切な維持管理を実施し、雨水排水能力の向上を図ることができた。また、一級河川の整備について要望活動を行った。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」であり、偏差値は60を上回る結果であった。
本市は、「市内点々補修工事」や「河川パトロール業務」により、河川・排水路の適切な維持管理に関する要望に即時に対応できる体制を構築していることが、高い偏差値に結びついていると考えており、ウェルビーイングの観点からも、引き続き適切な維持管理体制を整えていきたい。

評価に基づいた令和9年度の実施についての考え方

引き続き、各町内会からの要望に対して迅速に対応をし、河川・排水路の雨水排水能力の向上を図るとともに、関係機関とも連携し、計画的に河川・排水路整備を行う。

河川・排水路の整備や適切な維持管理を行うことや、一級河川の整備について要望活動は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、この指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き事業を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
河川改修事業	河川課	○	予定通り排水路の整備を行うことができた。
河川維持補修事業	河川課	○	適時補修を行い、適切な維持管理をすることができた。

■施策評価シート12-03-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草刈等河川愛護推進事業	河川課
町内会河川清掃浚渫土運搬事業	河川課
調整池維持管理事業	河川課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	66	68	71	75				

■施策評価シート

12-03-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	防災
基本方針	治水対策の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	12-03-②	施策名	公共下水道雨水幹線の整備	

施策の概要

大雨による市街地の浸水被害の未然防止・軽減を図るため、雨水幹線の整備や適切な維持管理を行います。

成果指標(単位)	雨水排水路整備完了面積(ha)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		638.9	640.9	642.9	644.9
実績値	636.9	638.2			

成果指標実績に対するコメント

一部事業を繰り越したため、わずかに目標値を下回る結果となったが、計画的に雨水排水路を整備したことから、目標に近い実績となった。

施策の達成度評価

令和7年度は新草津川右岸第1排水区や北川第6排水区等の雨水幹線整備を行い、浸水被害の軽減・未然防止を図ることができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」であり、偏差値は60を上回る結果であった。
全体整備計画に対する整備率において、本市は県内でも上位であり、そのような現状も、高い偏差値に結びついている要因と考えており、ウェルビーイングの観点からも、引き続き計画的に雨水幹線の整備や適切な維持管理を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き、計画的に整備を進め、浸水被害の軽減・防止を図る。

雨水幹線の整備や適切な維持管理を行うことは、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、この指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き事業を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
雨水管渠等維持管理事業	河川課	○	適時補修を行い、適切な維持管理を行うことができた。
雨水管渠整備事業	河川課	○	概ね計画通りの雨水排水路の整備を行うことができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)			66	68	71	75			

13.生活安心・防犯 に関する施策

■ 施策評価シート 13-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	暮らしの安心の確保		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	13-01-①	施策名	市民相談業務の充実	

施策の概要
相談員の資質向上や相談体制の充実に努め、相談を受けた市民の生活上の不安や問題の早期解決を図ります。

成果指標(単位)	市民相談件数(件)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		730	730	730	730
実績値	720	807			

成果指標実績に対するコメント
相続や相隣関係など市民生活の心配ごとや不安について807件の相談があり、解決に向けた助言や情報提供を行うことができた。

施策の達成度評価
相談の解決を図るための助言や、庁内外の関係機関や法律・税務等の専門機関への案内や情報提供を行い、心配ごとや不安の解消に向けて丁寧な対応を行うことができた。
—

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
市民生活における心配ごとや不安の相談窓口として、相談内容に応じた助言および関係機関や専門機関への案内や情報提供を行うとともに、相談員の資質向上を図り、相談者へ丁寧な対応をする。
—

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
市民相談室運営事業	生活安心課	○	市民生活における様々な相談に応じた助言および関係機関や専門機関への案内や情報提供を行い、相談に適切に対応できたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		実数					
		偏差値					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	暮らしの安心の確保		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	13-01-②	施策名	消費者の自立支援・消費者教育の推進と消費者団体の育成	

施策の概要

消費生活に関する相談や出前講座を行い、消費者がトラブルに巻き込まれないように教育や啓発に努めるとともに、消費者団体の育成や支援を行います。

成果指標(単位)	消費生活センターのあっせんによる相談事案の解決率(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	96.8	97.1	97.4	97.7
実績値	96.5	96.6			

成果指標実績に対するコメント

消費生活に関する契約トラブルなどの相談(苦情)が1,217件寄せられており、消費生活相談員が丁寧に聞き取り、助言、情報提供、あっせんを行い、課題解決・消費者被害救済につなげた。目標値には達しなかったが、悪質性の高い事業者への対応や自力で解決が難しい相談も多く、引き続き粘り強い交渉で消費者被害の救済に取り組んでいく。

施策の達成度評価

身近な相談窓口として、消費者トラブル解決のための助言や支援を行うことができた。また、草津市消費者リーダー会と連携して、イベントでの啓発や地域サロンや学校等で消費者教育の出前講座を実施するとともに、広報紙やホームページ等の媒体を活用した情報発信や注意喚起を行うことができた。引き続き、消費者被害の未然防止と消費者の自立支援をしていく必要がある。

—

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き、解決に向けた助言等を積極的にを行い消費者被害救済に努めるとともに、複雑多様化する相談に対応するため、国民生活センター等が実施する消費生活相談に関する専門研修を積極的に受講し消費生活相談員のスキルアップに努める。また、消費者トラブルや消費者被害の未然防止のため、草津市消費者リーダー会と連携し、学校や地域における出前講座の実施など積極的に啓発を行うとともに、消費者トラブル事例と対処法の情報発信など、あらゆる年代に向けた注意喚起を行っていく。

—

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
消費者教育推進事業	生活安心課	○	消費者トラブルに関する情報発信や消費者教育の出前講座の実施など啓発活動に取り組んだ結果、消費者被害の未然防止を図ることができたため。
消費生活相談啓発事業	生活安心課	○	消費生活相談員による丁寧な聞き取り、助言、情報提供、あっせんを行った結果、消費者被害救済につなげることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
		実数							
		偏差値							

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	暮らしの安心の確保		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	13-01-③	施策名	生活衛生の向上と栗東市との広域連携による火葬体制の確立	

施策の概要

生活衛生の向上のため、畜犬登録・狂犬病予防注射の実施、火葬場や市営墓地の適正管理等とともに、栗東市との広域連携による新たな火葬施設の整備に向けた取組を進めます。

成果指標(単位)	狂犬病予防注射接種率(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		79.9	80.1	80.4	80.6
実績値	79.6	79.0			

成果指標実績に対するコメント

犬の飼い主に対して狂犬病予防注射について案内し、各地域まちづくりセンター等を会場に集合注射を実施し、未接種の飼い主に対して接種の勧奨を行った結果、目標値には達しなかったが、全国(R6接種率:70.8%)および滋賀県(R6接種率:66.6%)の接種率に比べて、高い接種率を保つことができた。

施策の達成度評価

狂犬病予防注射の接種率向上のため、未接種の飼い主に対して接種の勧奨を行い、周知啓発を図るとともに、畜犬登録が適切に行われるよう、ペットショップや転入者等への案内に加え、新たに畜犬登録に係るオンライン申請を開始した。そして、生活衛生の向上、市民生活の安心につなげるため、火葬場の安定的な管理運営や市営墓地の適正な維持管理に努めた。また、新たな火葬施設の整備に向け、一部事務組合および栗東市と連携し、事業推進に取り組んだ。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」であり、偏差値は57.9と、前年度の55.2より高い数値となった。この結果を踏まえ、引き続き、新たな火葬施設の整備に向け、取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

狂犬病予防注射の未接種の飼い主に対して接種の勧奨、接種率の向上のため周知啓発を行うとともに、火葬場および市営墓地の管理を適正に行い、生活衛生の向上を図っていく。また、新たな火葬施設の整備については、令和9年度末に供用開始がされるよう、一部事務組合および栗東市と連携しながら、引き続き取り組んでいく。

火葬場や市営墓地の適正管理は、「No19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、指標の数値が年々高まっていることを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、新たな火葬施設の整備に向けて取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
畜犬対策事業	生活安心課	○	畜犬登録に関する周知啓発、狂犬病予防注射の接種促進に努めた結果、全国と滋賀県の平均接種率より高い接種率を保つことができたため。
火葬場管理運営事業	生活安心課	○	指定管理者制度による火葬場の管理運営を行うとともに、必要な保全修繕を実施した結果、円滑な火葬業務が実施できたため。
市営墓地管理事業	生活安心課	○	墓地の清掃や草刈等を実施した結果、良好な墓地の環境が維持でき、市営墓地の適正管理が実施できたため。
草津栗東行政事務組合負担金事務	生活安心課	○	草津栗東行政事務組合および栗東市と連携し、新たな火葬施設の整備に向けて取り組むことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小動物死骸処理事業	環境政策課
駅前公衆便所維持管理事業	資源循環推進課
公衆衛生確保対策事業	生活安心課
路上喫煙対策事業	生活安心課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】								
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2				
		偏差値	55.2	57.9				
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】							備考	
客観指標No. (令和7年度)								

■ 施策評価シート 13-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	犯罪のないまちづくり		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	13-02-①	施策名	自主防犯活動の展開	

施策の概要
街頭啓発の実施や防犯ボランティア団体等への活動支援等を通じて市民の防犯意識の高揚につなげ、警察や県と連携を図りながら、犯罪抑止に努めます。

成果指標(単位)	人口1万人当たりの犯罪認知件数(件)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	63	62	61	60
実績値	63.4	67.6			

成果指標実績に対するコメント
人口1万人当たりの犯罪認知件数の実績値は、目標値を4.6件上回り、目標値を達成することができなかった。県内でも知能犯を中心に犯罪認知件数が増加しており、社会的な問題となっている特殊詐欺や闇バイト等の発生が影響しているものとする。

施策の達成度評価
地域や警察と連携した啓発活動等により、人口1万人当たりの犯罪認知件数は県平均との差が縮まってきたものの、発生件数は増加傾向にあり、犯罪抑止に向けて、市民の防犯意識の向上に取り組む必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい」があり、偏差値は60を上回る結果であった。 本市では、地域や警察と連携し、子ども110番の家や防犯パトロール等の取り組みを推進しており、上述のとおり偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、犯罪抑止に向けて、地域や警察と連携した防犯対策に引き続き取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
特殊詐欺等の被害防止に取り組むため、警察と連携した啓発や防犯アプリの登録に力を入れるとともに、地域の防犯活動を支援するため、栗東市と連携し草津栗東防犯自治会の取組を進める。
地域や警察と連携した取組は、「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、地域や警察と連携した取組を一層進める。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防犯対策事業	危機管理課	○	啓発や地域の防犯活動への支援に取り組み、犯罪抑止力を強化できたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
30	私の暮らしている地域は、防犯対策 (交番・街燈・防犯カメラ・住民の見 守り等)が整っており、治安がよい	実数	3.2	3.3			
		偏差値	58.8	61.8			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		78							

■施策評価シート

13-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	生活安心・防犯
基本方針	犯罪のないまちづくり		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	13-02-②	施策名	防犯設備の維持・整備	

施策の概要

長寿命を考慮したLED防犯灯の設置、また、防犯設備の設置促進等により、犯罪を未然に防ぐまちづくりを進めます。

成果指標(単位)	人口1万人当たりの犯罪認知件数(件)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		63	62	61	60
実績値	63.4	67.6			

成果指標実績に対するコメント

人口1万人当たりの犯罪認知件数の実績値は、目標値を4.6件上回り、目標値を達成することができなかった。県内でも知能犯を中心に犯罪認知件数が増加しており、社会的な問題となっている特殊詐欺や闇バイト等の発生が影響しているものとする。

施策の達成度評価

子ども見守り防犯カメラおよびくらし見守り防犯カメラの設置により、人口1万人当たりの犯罪認知件数は県平均との差が縮まってきたものの、発生件数は増加傾向にあり、犯罪抑止に向けて、防犯灯や防犯カメラの設置を一層推進する必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい」があり、偏差値は60を上回る結果であった。
本市では、県内で先駆けて防犯カメラの設置に取り組んでおり、上述のとおり偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、犯罪抑止に向けて、警察と連携した防犯カメラの活用に取り組みしていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

市で設置する防犯灯の設置要望の受付、町内会への防犯灯・防犯カメラ設置補助金の交付を実施する他、警察と連携しながら防犯カメラの運用を進める。また、町内会等が管理するLEDの防犯灯が耐用年数を迎えつつあることから、維持管理費の負担軽減策について検討を進める。

防犯カメラおよび防犯灯設置の取組は、「No.30 私の暮らしている地域は、防犯対策(交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等)が整っており、治安がよい」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、防犯カメラおよび防犯灯設置の取組を一層進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
防犯灯維持管理事業	危機管理課	○	防犯灯の新設、修繕等に取り組み、犯罪抑止力を強化できたため。
防犯カメラ維持管理事業	危機管理課	○	防犯カメラの維持管理を行い、犯罪抑止力を強化できたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
30	私の暮らしている地域は、防犯対策 (交番・街燈・防犯カメラ・住民の見 守り等)が整っており、治安がよい	実数	3.2	3.3			
		偏差値	58.8	61.8			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考	
客観指標No. (令和7年度)			78						

14.環境に関する施策

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-①	施策名	自然環境の保全	

施策の概要
生物多様性の保全や市民が自然とふれあうための活動を推進し、自然とともに生活する環境づくりを進めます。

成果指標(単位)	「いきもの自然学校」受講者数(名)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	210	260	310	380
実績値	166	213			

成果指標実績に対するコメント
総合的に環境が学べるモデル地域2学区(志津・笠縫東)において、専門家、地域、団体等との協働により、環境学習プログラムを実施した。令和7年度の受講者数は笠縫東学区29名、志津学区18名の合計47名で目標値を達成することができた。特に志津学区に関しては、過去の参加者とまちづくり協議会が主体となってプログラムの実施に携わっており、地域の自然環境の保護や保全に関わる人材の育成にもつなげることができた。

施策の達成度評価
第3次草津市環境基本計画に基づき各種事業を推進した結果、重点事業1「いきもの自然学校」に関する取組については、参加者とまちづくり協議会が主体となり、事業の推進に関わる人材育成や、モデル地域の利活用を図るための環境学習プログラムを実施する等、一定の効果がみられた。また、自然環境保全地区における危険木除去事業は4地区で危険木を除去し、令和3年度危険木調査でA判定となった樹木106本すべての除去が完了した。そのうえで、現時点での樹木の状態を個別調査し、新たに危険木判定された7地区で9本の樹木を除去し、地域の自然環境の保全を図ることができた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、偏差値が58.5という平均以上の高い結果であった。 ウェルビーイングの観点からも、地域の自然に目を向け身近に感じることができるよう地域の自然環境の保全や地域資源の利活用を取り入れた事業を継続して実施していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
重点事業1「いきもの自然学校」については、受講者が自然に関心を持ち、地域の自然環境の保全につながる事業を目指し、まちづくり協議会等の関係機関と連携を強めながら事業内容の充実を図るとともに、新たなモデル地区での事業実施を進める。また、事業について市ホームページ等で発信し、周知を行う。自然環境保全地区については、危険木の個別調査を実施し、各地区の管理者等に対し補助を行うことにより、自然環境等に親しむことができる場と機会の提供を推進する。
重点事業1「いきもの自然学校」や、危険木除去事業は、地域の環境保全だけではなく、「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、高い水準ではあるものの、引き続き目標の達成に向け、地域の自然環境の保全や自然環境に親しむ場と機会の提供に努めていく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
自然環境保全啓発推進事業	環境政策課	○	「いきもの自然学校」や自然環境保全地区危険木除去等事業を実施した結果、市民の自然に対する関心を深めるとともに、地域の自然環境を保全することができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
環境審議会運営事務	環境政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-②	施策名	環境汚染、環境負荷対策の促進	

施策の概要
事業所等への適切な指導・啓発を通じ、環境汚染等の未然防止に努めるとともに、環境負荷の低減を図ります。

成果指標(単位)	河川の水質における環境管理基準の達成状況(達成回数／調査回数)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	72/72	72/72	72/72	72/72
実績値	66/72	60/72			

成果指標実績に対するコメント
市内2河川にて、3項目12回の水質調査をそれぞれ行った結果、伊佐々川で3回、狼川で9回の基準超過があり、目標値には達しなかった。基準超過の原因を究明するため、上流での追加調査や流域の事業所の排水調査を重点的に実施したが、発生源の特定には至らなかった。

施策の達成度評価
河川の水質調査については、調査の結果、72回の測定のうち12回が環境管理基準を超過したため、継続して河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めた。事業所等指導については、水質汚濁、大気汚染、騒音、振動、悪臭等の環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や、従来から苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を行った。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.28 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」「No.27 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」があり、いずれも偏差値が55を上回る結果であった。 一方で、水質の基準超過が複数回あるため、ウェルビーイングの観点からも、引き続き水質汚濁の原因究明および河川監視の強化の継続実施に努める。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
河川の水質調査など環境調査を継続するとともに、狼川流域の河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努め、規制対象外の事業所に対しても調査や啓発等を実施していく。また、引き続き環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を実施していく。
河川の水質調査や事業所への指導・啓発は環境汚染の未然防止や負荷の低減を図るだけでなく、当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標である「No.28 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」「No.27 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」といったウェルビーイング向上にも寄与できると考える。今後も、市民の環境への興味関心が高まるよう、河川水質結果等の公表、周知を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
事業所等指導事業	環境政策課	○	環境負荷が大きいと懸念される事業所への定期的な立入や従来からの苦情が継続している事業所への定期的なパトロールを実施し、積極的な指導啓発を行った結果、環境汚染等の未然防止が図れたため。
環境調査事業	環境政策課	○	継続して河川調査などの環境調査を実施した結果、市内の環境の状況を適切に把握し、良好な環境の維持管理につなげることができたため。

■施策評価シート 14-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市街地排水浄化施設維持管理事業	河川課
流域下水道維持管理費負担金事務	河川課
浄化槽法等指導事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
27	暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	55.8	56.7			
28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.0	68.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		51	52	53	54	60	61	

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	良好な環境の保全と創出		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-01-③	施策名	環境学習の拡充	

施策の概要
地域資源を生かした環境学習を充実させ、環境活動に携わる人材の確保に努めることにより、生涯を通じて誰もが環境について豊かに学び行動できる、持続可能な地域社会づくりを進めます。

成果指標(単位)	こども環境会議参加団体数(団体)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		76	78	80	82
実績値	61	65			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度目標値76団体に対して、実績値は65団体となり、目標を達成できなかったが、幅広く参加を呼びかけることにより、令和6年度と比較して4団体増加させることができた。 目標未達の原因としては、コロナ禍以前の水準(R1:64団体)に戻ってきたものの、休日開催のため、小・中学校からの参加が難しくなっていることや、新規の地域活動団体が少なくなっていること等の要因により伸び率が緩やかになっているものと考えられる。

施策の達成度評価
第3次草津市環境基本計画に基づき、環境について学び行動できる地域社会づくりとして、環境学習教材の貸出や環境学習への講師派遣を実施した。こども環境会議は壁新聞や展示物をくさつエコスタイルプラザ、イオンモールで展示を行うとともに、YouTube「くさつチャンネル」、くさつスケッチのTV放送等で発信することにより、環境学習活動の啓発を行うことができた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.28 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」「No.26 暮らしている地域では、身近に自然に感じることができる」「No.27 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」があり、いずれも偏差値が55を上回る結果であった。 一方で、成果指標目標の参加団体数に達しなかったことから、ウェルビーイングの観点からも、引き続き環境学習を通じて環境について学び行動できる地域社会づくりをすすめたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
市民が環境に関心を持ち、様々な環境学習が行えるよう、市ホームページやイベント等で環境学習情報を発信するとともに、講師派遣や貸出教材のさらなる充実を図る。また、こども環境会議は、交流やつながりが深まるよう実行委員会において内容の充実を図るとともに、開催について広報等で周知を行い、事業所、団体、大学など多種多様な主体による参画が図れるよう参加の呼びかけを行う。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標である「No.28 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」「No.26 暮らしている地域では、身近に自然に感じることができる」「No.27 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」は、市民の環境への興味関心に基づいた指標であり、より一層の広報、周知を行い環境活動に携わる人材を増やしていくことで、ウェルビーイング向上に寄与できると考える。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
環境学習推進事業	環境政策課	○	こども環境会議などの環境に関するイベントの開催や、環境学習のための教材貸出・講師派遣を実施した結果、市民の環境への関心を深め、環境学習を推進することができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7					
		偏差値	56.4	58.5					
27	暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	実数	3.4	3.5					
		偏差値	55.8	56.7					
28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	実数	3.2	3.3					
		偏差値	62.0	68.4					
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									
客観指標No. (令和7年度)									備考

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	脱炭素社会への転換		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-02-①	施策名	様々な主体の自主的な取組の支援とネットワークの拡充	

施策の概要
脱炭素社会への転換に向けた取組を支援するため、愛する地球のために約束する協定をはじめ、様々な主体が自主的に取り組むための制度・仕組みづくりを行うとともに、自主的な取組を促す情報提供やネットワークの拡充を図ります。

成果指標(単位)	草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数(者)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	82	87	92	97
実績値	77	74			

成果指標実績に対するコメント
草津市地球冷やしたい推進協議会の会員数は、令和7年度は新たな入会者が無く、一方で3者が退会となったため減少し、目標値には届かなかった。「愛する地球のために約束する協定」については、令和7年度より補助金交付の要件としたこと等により新たに9者と締結するに至ったものの、いずれの協定締結者も協議会へ入会されなかったことが主な要因と考える。

施策の達成度評価
補助金というインセンティブが協定締結者の増加に繋がったものの、協議会員は増加せず活動が活発だとは言い難い状況を反映していると考えられる。協議会員になることにより、研修や啓発活動における会員同士の情報交換で脱炭素経営等に繋がるメリットが得られると実感いただけるよう、事務局として活動内容の充実を促していきたい。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.28 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」であり、偏差値は68.4%であった。本市は、国の法整備に先駆けて、「草津市地球冷やしたい推進協議会」を組織し、市民・事業者・団体・市の協働で地球温暖化対策を進めてきた経緯があることから、偏差値が高い水準になったと考えられる。ウェルビーイングの観点からも、引き続き各主体が地球温暖化対策に積極的に取組んでいけるよう、協議会活動の活性化を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
協定締結者の増加にも繋がる補助金制度等は継続するとともに、市の負担金という限られた財源の使い道を工夫し、研修を充実させるなど協議会活動の活性化を図り、会員ネットワークの充実させることで、協定締結者の入会を促していく。
協議会活動は、脱炭素社会への転換に向けた会員の取組を支援するだけでなく、「No.28 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」という指標に係るウェルビーイングの向上にも資する取組と考えており、当該指標が高い水準であったことも踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、協議会会員の増加に向けた事業を展開していく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域協議会運営事業	温暖化対策室	○	協議会の目的である「実行計画(区域施策編)を推進」するため、啓発や研修などの活動を行うことができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.0	68.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)			63	64	65				

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	脱炭素社会への転換		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-02-②	施策名	省エネルギー対策・再生可能エネルギー利用等の推進	

施策の概要
省エネルギー機器の導入・更新や再生可能エネルギーの利活用を進めるため、様々な情報提供や支援を行います。

成果指標(単位)	省エネルギー・再生可能エネルギー機器等導入に伴い市の支援を受けた市民・事業者の数(世帯・者)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	51	52	54	56
実績値	27	51			

成果指標実績に対するコメント
目標値と同じ実績値となった。令和7年度から開始した、中小企業等の脱炭素取組支援のための補助金交付者数は、11者を想定していたところ9者となった。一方、既存住宅に新規に設置する太陽光発電と、既存の太陽光発電に接続する蓄電池の設置に対する補助金交付者数は、40者を想定していたところ42者となった。補助事業初年度であったにもかかわらず、概ねPRができており実績に繋がったと考える。

施策の達成度評価
中小企業等の支援補助金は、県の同補助金の同額上乘せ補助金として開始したが、目標にはわずかに届かず誘導効果が限定的だったため、目標達成に向け、より補助事業の周知を図る必要がある。太陽光発電等の補助金については、導入によるCO2削減・省エネ効果などをより丁寧に伝えていくことにより、引き続き目標を上回る支援を行いたいと考える。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.28 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」であり、偏差値は68.4%であった。本市は、令和3年にゼロカーボンシティを表明しており、CO2削減目標の達成に向けて市民・事業者に向けた脱炭素取組支援策を強化しており、偏差値が高い水準だったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き補助事業を活用した省エネルギー・再生可能エネルギー機器等の導入を促していきたい。

評価に基づいた令和9年度取組についての考え方
令和7年度から開始した補助事業(支援策)を、今後も継続して実施することにより、事業の周知が図られ活用量の増加が見込めるが、あわせて省エネルギー・再生可能エネルギー機器導入によるCO2削減・省エネ効果を丁寧に伝えていくことにより、継続して取り組んでいただけるよう促していく。
補助事業は、交付を受けた市民・事業者の取組を支援するだけでなく、「No.28 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」という指標に係るウェルビーイングの向上にも資する取組と考えており、こうした指標が高い水準であったことも踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、より多くの市民・事業者が継続して省エネルギー・再生可能エネルギー機器等の導入を進められるよう事業を展開していく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域脱炭素事業	温暖化対策室	○	市の率先行動として、再生可能エネルギーの公共施設への導入を進めるため、ごみ発電の利活用を開始したり、太陽光発電導入に向けた基本設計を行ったりしたため。
エネルギー対策事業	温暖化対策室	○	省エネルギー・再生可能エネルギー機器等導入補助金を、当初の期待どおり市民・事業者にも活用いただけたため。
広報啓発活動事業	温暖化対策室	○	セミナー等で省エネルギー・再生可能エネルギー機器等の導入効果について啓発できたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.0	68.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		63	64	65					

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-①	施策名	ごみの発生抑制・再使用・資源化の推進

施策の概要

資源循環型社会の構築のため、発生抑制、再使用によるごみ発生量の削減と資源化による最終処分量の削減の取組を進めます。

成果指標(単位)	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)(g/人・日)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)※487.2	485.8	484.4	482.9	481.5
実績値	479.1	469.7			

成果指標実績に対するコメント

人口は149,257人と前年度比で844人増加しているものの、これまでの継続したごみの減量や分別に関する啓発等の取組により、令和7年度の家庭系ごみの総排出量についても25,591tと前年度比で364tの削減となり、1人1日あたりの家庭系ごみ排出量が目標値の485.8g/人・日に対して実績が469.7g/人・日と目標を達成することができた。

施策の達成度評価

計画に基づき各種事業を推進した結果、家庭系ごみ排出量(集団回収量を除く)は、前年度の24,236tに対して24,024tと212tの削減となり、資源化率は前年度17.8%に対し17.3%となった。最終処分量は前年度3,791.2tから3,733.9tと57.3t削減することができた。今後も循環型社会の構築に向けて引き続きごみの減量・リサイクルに取り組む必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.28 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」があり、偏差値が60を上回る結果であった。本市は、全国に先駆けて廃家具等のリユース事業を行っており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、ごみの減量・リサイクルに取り組む必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

更なるごみの減量・リサイクルによる「資源循環型社会の構築」に向けて、ごみの発生抑制と再使用を進める取組に重点を置きつつ、取組を進めてもなお、排出されるごみについては、できる限り資源物としてリサイクルするため、適正な分別に向けた取組を推進する。

これまでの継続したごみの減量や分別に関する啓発等の取組は、「No.28 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、ごみの発生抑制と再使用を進める取組に重点を置きつつ、取組を進めてもなお、排出されるごみについては、できる限り資源物としてリサイクルするため、適正な分別に向けた取組を推進する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ減量化推進事業	資源循環推進課	○	生ごみ処理容器の購入に係る補助や資源回収活動の奨励、事業系ごみの減量指導等により、ごみの減量を推進することができたため。
ごみ分別啓発事業	資源循環推進課	○	分別アプリの普及推進や分別ブックの発行等、ごみの分別を周知啓発することにより、ごみの資源化を推進することができたため。
ごみ問題を考える草津市民会議活動補助事業	資源循環推進課	○	ごみ問題を考える草津市民会議と連携して、エコライフフェアの開催や広報誌ごみジャーナルの刊行等により、3Rを啓発することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ごみ分別啓発事業	環境政策課
指定ごみ袋購入配布事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.0	68.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		62							

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-②	施策名	ごみの適正処理	

施策の概要
効率的な収集とクリーンセンターの適正な運転管理を行います。

成果指標(単位)	排ガス中のダイオキシン類測定結果 (ng-TEQ/Nm³)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	0.1	0.1	0.1	0.1
実績値	0.00016	0.00084			

成果指標実績に対するコメント
一般廃棄物処理施設の維持管理の技術上の基準を満たすよう運転を行った結果、排ガス中のダイオキシン類の測定値は、法令で定められた基準値の1ng-TEQ/Nm³はもちろんのこと、目標値である0.1ng-TEQ/Nm³も満たすことができた。

施策の達成度評価
各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、クリーンセンターについては、これまでどおり適正な運転管理に努めた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」があり、偏差値が57であった。 こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、適正な運転管理に努める必要がある。

評価に基づいた令和9年度取組についての考え方
各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境の保全に努めるとともに、排ガス中のダイオキシン類の濃度については法令で定められた施設の基準値(1ng-TEQ/Nm³)の10分の1である0.1ng-TEQ/Nm³を自主基準値として定め、この自主基準値を超過することのないよう、引き続きごみを適正に処理していく。
各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境の保全に努めることは、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、排ガス中のダイオキシン類の濃度については法令で定められた施設の基準値(1ng-TEQ/Nm³)の10分の1である0.1ng-TEQ/Nm³を自主基準値として定め、この自主基準値を超過することのないよう、引き続きごみを適正に処理していく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
ごみ収集運搬事業	資源循環推進課	○	各家庭から排出される廃棄物を効率的に収集し、生活環境を保全することができたため。
クリーンセンター管理運営事業	資源循環推進課	○	計画的・定期的な施設の補修やごみ処理施設を適正に運転・維持管理することができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
湖南広域行政組合運営負担金事務	資源循環推進課
広域廃棄物埋立処分場建設費負担金事業	資源循環推進課
草津市処分場管理事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)								

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	環境
基本方針	資源循環型社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	14-03-③	施策名	環境美化の推進	

施策の概要
ごみの不法投棄防止のための定期的なパトロールの実施をはじめ、市民・地域・事業者・行政等が連携・協力し環境美化に努めます。

成果指標(単位)	不法投棄ごみ率: 不法投棄ごみ量／ごみ発生量(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	0.03	0.02	0.02	0.02
実績値	0.03	0.03			

成果指標実績に対するコメント
不法投棄ごみ率は変化していないものの、クリーンセンターに搬入された不法投棄ごみ量は減少しており、定期的なパトロールによる監視活動や町内会によるボランティア清掃活動など、市民・地域・事業者との連携による取組の結果、生活環境の保全を図ることができた。

施策の達成度評価
不法投棄の発生が懸念される場所について定期的なパトロールを行うとともに、町内会等への不法投棄禁止看板やボランティア清掃用のごみ袋の交付など、不法投棄の未然防止や投棄物の回収に努めたことで、生活環境の保全を図ることができた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No28 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」があり、偏差値が60を上回る結果であった。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、生活環境の保全を図る必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
パトロールによる監視や監視カメラの有効活用など、不法投棄対策に引き続き取り組む。 また、悪質性が高いと判断した場合は、警察への通報も含め、地域と連携し解決を図る。
不法投棄対策に関する取組は、「No28 私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである」の指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き定期的なパトロールの実施をはじめ、市民・地域・事業者・行政等が連携・協力し環境美化に取り組む。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
不法投棄対策事業	資源循環推進課	○	定期的なパトロールによる監視やボランティア団体との協働による不法投棄物の回収等によって、生活環境の保全することができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
生活環境等対策事業	資源循環推進課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
28	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.0	68.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

15.交通に関する施策

■施策評価シート

15-01-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	交通
基本方針	公共交通ネットワークの構築	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	15-01-①	施策名	公共交通ネットワークの充実

施策の概要

誰もがいつでも安心して移動できる公共交通ネットワークを維持・確保するため、生活拠点を中心に民間路線バスとまめバス・まめタク等の公共交通機関の役割分担と連携により、地域の維持・活性化につなげます。

さらに、関係機関とも連携しながら、JR 草津駅・南草津駅周辺をはじめとする慢性的な交通渋滞の緩和や解消を行うとともに、運転免許証自主返納高齢者支援制度の充実や地域でのワークショップの開催などにより、公共交通の利用促進を進め、公共交通ネットワークの充実を図ります。

成果指標(単位)	地域公共交通の利便性に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	48	49	50.1	51.1
実績値	46.9	46.8			

成果指標実績に対するコメント

まめバス・まめタク等の年間利用者数について、まめタクは前年度実績を下回ったものの、まめバス・くるとバスについては約26,000人増加した。しかし、成果指標については前年度実績を下回り、目標値についても達成することができなかった。まめバスは平成25年10月の本格運行開始から年々利用者数が増加しており、日常生活の移動手段として浸透しつつあるものと捉えているが、まめタクについては利便性の向上の取組と合わせ、一層の周知が必要と考える。

施策の達成度評価

まめバス・くるとバスにおいて、夏休み期間中に「こども(小学生以下)無料乗車実証実験」を行い、まめバス・くるとバスの利用のきっかけづくりを行ったことや、社会医療法人誠光会と連携して実施した、病院の送迎バスを活用した補完的な交通手段を提供する実証事業を実施したことで、地域公共交通の利便性の満足度に繋がったと評価する。まめタクについてはワークショップの開催により、ルートやダイヤを地域と一緒に考えることができたが、交通不便地である老上西学区への新規路線導入の検討が必要と考える。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標「No.12 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」は、どちらも実数が昨年度から0.1ポイント上昇することができた。当市の公共交通力パー率(駅やバス停が一定の距離の範囲内にある住民の率)は96%であり、こども(小学生以下)無料乗車実証実験によるコミュニティバス等の周知や、草津駅前地下駐車場の適正な運営による路上駐車抑制が評価されたものとする。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

令和6年度策定の「草津市地域公共交通計画」に基づき、市民(地域)・交通事業者・行政が連携、協働することで、市民の地域公共交通への満足度の向上を図る。また、引き続きまめバス、まめタクの運行を維持することに加え、まめタクの老上西学区への導入を検討するなど、生活拠点へのアクセス向上を図るための取組を進め、利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークの充実を図る。

公共交通ネットワークの充実に関する取組は、「No.12 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であるとされており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも、既存の地域公共交通を維持しつつ、地域の実情に応じた路線再編やダイヤ改正による乗換利便性の向上などを実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
公共交通対策事業	交通政策課	○	まめバス・まめタク等の運行を維持・確保することなどにより、地域住民の移動手段の確保に寄与することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
草津駅前地下駐車場運営事業	交通政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

15-01-①

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】										
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	令和10年度
12	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	実数	3.1		3.2					
		偏差値	49.7		51.4					
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1		3.2					
		偏差値	55.2		57.9					
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考
客観指標No. (令和7年度)			16	18						

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち	分野	交通
基本方針	公共交通ネットワークの構築	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	15-01-②	施策名	鉄道駅周辺での自転車利用環境の整備

施策の概要

公共交通の補完手段として、自転車の有効的な活用展開を図り、鉄道駅周辺における需要に対応した自転車駐車スペースを確保するとともに、放置自転車対策の強化を進め、自転車利用環境の整備を図ります。

成果指標(単位)	市営自転車駐車場利用者数(人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	336,828	340,828	344,828	348,828
実績値	332,828	364,252			

成果指標実績に対するコメント

市営自転車駐車場の利用者数については、前年度実績を大きく上回り、目標値についても達成することができた。令和7年4月から供用を開始した草津駅西口自転車駐車場を含め、今後も指定管理者と密に連絡を取り、管理運営を継続することで、利用促進および目標値の達成を図る。

施策の達成度評価

自転車駐車場については、既存の駐車場および草津駅西口自転車駐車場、(公財)自転車駐車場整備センターにより令和7年12月から供用を開始した南草津駅西口第2自転車駐車場の運用により、需要に応じた自転車駐車スペースの確保・維持を行うことができた。放置自転車については、夜間の見回りを強化したことで、撤去台数が前年度実績と比べて増加し、自転車利用環境の改善につながった。今後も鉄道駅周辺の自転車駐車スペースの整備を実施するとともに放置自転車対策を継続していく。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」は実数が昨年度から0.1ポイント上昇した。

これは草津駅西口自転車駐車場および南草津駅西口第2自転車駐車場の供用開始により、利便性向上に寄与したことが一因と考える。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

今後も需要に応じた自転車駐車スペースの確保・維持を行うとともに、放置自転車対策を継続して進めることで、鉄道駅周辺の自転車利用環境の整備を図る。また、公共性を有する交通手段であるシェアサイクルの導入を検討するなど、公共交通の補完手段として、自転車の有効的な活用展開を図る。

自転車利用を促進し、駅周辺における需要に対応した自転車駐車場の運営を行うことは、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも自転車利用環境の整備を行い、需要に応じた自転車駐車スペースの確保・維持、放置自転車対策を継続して進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
草津駅西口周辺自転車駐車場運営事業	交通政策課	○	草津駅西口自転車駐車場の供用を開始し、徐々に定期利用と一時利用の受入れ台数を調整することで、状況に応じた管理運営を行い、自転車利用環境を整えることができたため。
草津駅東自転車駐車場運営事業	交通政策課	○	定期待ちが発生しないように、引き続き定期利用と一時利用の受入れ台数を調整し、状況に応じた管理運営を行い、自転車利用環境を整えることができたため。
南草津駅駐輪・駐車場運営事業	交通政策課	○	サイクルラックに停めることができない大型自転車を停めることができるよう、専用置場を増設するなど、引き続き利用者のニーズに合わせた管理運営を行い、自転車利用環境を整えることができたため。
放置自転車対策事業	交通政策課	○	鉄道駅周辺の放置自転車禁止区域において、引き続き看板やステッカー、周知チラシによる啓発を実施し、夜間の巡回を強化して放置自転車の撤去等を行うことで、駅前の良好な都市景観を保つことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		18	101	102				

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	交通
基本方針	交通安全対策の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	15-02-①	施策名	交通安全意識の高揚	

施策の概要

交通事故防止につなげるため、交通安全教育を推進するとともに、各種啓発活動や街頭指導、自転車安全安心利用の推進等に取り組み、あらゆる世代における交通安全意識の高揚を図ります。

成果指標(単位)	交通安全教室や自転車安全安心利用教室への参加人数(人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	5,033	5,403	5,773	6,143
実績値	4,663	4,109			

成果指標実績に対するコメント

交通安全教室への参加人数は前年度実績に比べ増加したものの、自転車安全安心利用教室への参加人数が減少し、合計としては前年度実績を下回り、目標値についても達成できなかった。自転車安全安心利用教室の参加人数減少については、中学校等母数が多い団体による教室開催が少なかったことによるものであり、児童数が減少する中で、自転車安全安心利用教室の実施を呼び掛ける対象を再考する等により目標値達成を目指す。

施策の達成度評価

交通事故防止につなげるため、引き続き対象者に合わせた交通安全教育等を実施し、広く市民に交通安全を周知することができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」は偏差値が60を上回る結果であったが、客観指標「No.77 人口あたり交通事故件数」の偏差値は51.4となっている。ハード整備だけでは交通事故をなくすことはできないため、継続した交通安全教育等を実施していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

改正道路交通法の施行により、令和8年4月から自転車に対して交通反則通告制度が導入され、自転車の交通ルールやマナーの周知啓発の重要性が高まっている。令和8年度に策定予定の「第2次草津市自転車安全安心利用促進計画」に基づき、あらゆる世代に対応した交通安全教育を充実させることなどにより、より一層、市民の交通安全意識の高揚を図る。

市民の交通安全の意識の高揚を図ることは、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも、あらゆる世代に継続した交通安全教育を実施することで、交通事故のない安全で安心なまちの形成を目指す。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
草津栗東地区交通対策協議会事業	交通政策課	○	交通安全推進団体・関係機関と連携し、交通安全街頭啓発や交通安全シニアカレッジの開催、自転車交通安全マナーアップ重点校事業等を引き続き実施したことにより、広く交通安全意識の高揚を図ることができたため。
交通安全啓発事業	交通政策課	○	交通指導員を中心に関係機関と連携して、幼児・児童等を対象とした交通安全教室を引き続き開催したことにより、幼少期における交通安全意識の高揚を図ることができたため。
自転車安全安心利用推進事業	交通政策課	○	自転車安全安心利用指導員を中心に関係機関と連携して、交通安全啓発や出前講座を引き続き開催するとともに、自転車の青切符について予め周知啓発することで、自転車利用マナーに対する意識の高揚を図ることができたため。

■施策評価シート15-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
交通安全事務	交通政策課
草津栗東交通安全協会補助金事務	交通政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	77							

16.道路に関する施策

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-①	施策名	広域主要幹線道路等の整備促進	

施策の概要
主要幹線道路での慢性的な交通渋滞の解消を図るため、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた(都)平野南笠線をはじめとする事業の整備促進について要望活動に取り組みます。

成果指標(単位)	草津市域内の拠点間道路ネットワーク整備事業の整備延長(m)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	1,300	0	116	0
実績値	1,000	1,346			

成果指標実績に対するコメント
大津能登川長浜線の草津三丁目交差点改良で300m、(都)山手幹線の山寺ランプから上砥山ランプ間のうち草津市域分が500m、(都)平野南笠線のうち(都)山手幹線から滋賀アリーナ間が500m、大津草津線の矢橋中央交差点改良で46m整備され、目標値を達成することができた。過年度からの要望活動や事業協力が整備促進につながったものとする。

施策の達成度評価
「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に基づき、草津市域内の拠点間道路ネットワーク整備事業が実施され、主要幹線道路での慢性的な交通渋滞の緩和に一定の効果がみられた。 引き続き、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた事業の早期実施に向け、要望活動を継続していく。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」があり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。 広域主要幹線道路等の整備促進に向けて要望活動を継続しており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた事業が早期に実施されるよう県への働きかけを行いたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた(都)平野南笠線の着実な整備促進について要望活動を行うとともに、県と連携して各事業に取り組んでいく。
安全・安心な道路が整備されることは、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資するものであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、「滋賀県道路整備アクションプログラム2023」に位置付けられた事業の早期実施に向け、要望活動や事業協力を継続していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
国・県道路整備対策事業	土木管理課	○	各種道路関係の協議会等において国や県への要望活動を実施するとともに、関係機関との意見交換も積極的に行ってきた結果、(都)山手幹線等の主要幹線道路が整備されたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】								
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8				
		偏差値	65.4	68.3				
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4				
		偏差値	55.4	60.3				

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		77							

■施策評価シート

16-01-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-②	施策名	幹線道路の整備	

施策の概要

渋滞の緩和や交通アクセスを確保するため、幹線道路の整備を推進し、道路ネットワークの充実を図ります。

成果指標(単位)	大江霊仙寺線(南笠工区)その2および平野南笠線(新浜工区)の実施延長(m)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	1,110	1,110	1,110	1,110
実績値	530	1,110			

成果指標実績に対するコメント

大江霊仙寺線(南笠工区その2)の補償調査及び平野南笠線(新浜工区)の予備設計を進めることでの事業進捗を図った。
【1,110m = 大江霊仙寺線(南笠工区その2) 530m + 平野南笠線(新浜工区) 580m】

施策の達成度評価

大江霊仙寺線(南笠工区その2)および平野南笠線(新浜工区)について、計画通り事業を進めることができた。

当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、幹線道路の整備を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

今後も引き続き、JR南草津駅周辺の渋滞緩和や大津方面への交通アクセスの確保を図るべく、大江霊仙寺線及び平野南笠線の事業推進に向けた取組を着実に進める。

当該施策は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
平野南笠線整備事業	道路課	○	滋賀県と連携して、計画通り事業進捗を図れたため。
大江霊仙寺線整備事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待通りの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】											
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8		3.8						
		偏差値	65.4		68.3						
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3		3.4						
		偏差値	55.4		60.3						
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】											
客観指標No. (令和7年度)			40	77							備考

■施策評価シート 16-01-③

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-③	施策名	生活道路の整備	

施策の概要
地域の暮らしの利便性や安全性の向上を図るため、市内の地域間および地域内の生活道路の整備を推進します。

成果指標(単位)	市道の新設・改良整備延長(m)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		360	180	260	80
実績値	462	273			

成果指標実績に対するコメント
目標値に対して実績値は低くなっているが、効果促進を目的に前年度に工事を一部を前倒すことができたためであり、計画通り、市民に身近な生活道路の整備を行い、利便性や安全性を高めることができた。

施策の達成度評価
狭隘な通学路の路肩拡幅整備や、離合が困難なバス路線の拡幅整備、交通混雑が慢性的な路線の拡幅整備を行い、利便性や安全性の向上を図ることができた。
当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、市民に身近な生活道路の整備を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
今後も引き続き、必要性や効果を勘案しながら、計画的に整備を進める。
当該施策は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
道路新設改良事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】								
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8				
		偏差値	65.4	68.3				
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4				
		偏差値	55.4	60.3				

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		40							

■施策評価シート

16-01-④

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-④	施策名	歩道・自転車道等の整備	

施策の概要

歩行者や自転車利用者が安全かつ快適に移動でき、児童が安全に通学できる環境を整えるため、歩行者や自転車の通行空間等の整備を推進します。

成果指標(単位)	歩道・自転車道等の整備延長(m)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		1,520	1,660	2,720	2,220
実績値	1,608	1,666			

成果指標実績に対するコメント

計画通り、通学路の安全対策のためのカラー舗装や路肩拡幅、自転車通行空間の整備を行い、安全性や利便性を高めることができた。

施策の達成度評価

地元、公安委員会、学校との通学路合同点検により、必要性などを勘案しながら、路肩カラー舗装等の安全対策を講じた。

当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、歩行者や自転車の通行空間等の整備を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の実施についての考え方

今後も引き続き、地元からの要望や必要性を勘案しながら、路肩カラー舗装等の交通安全対策を進める。

当該施策は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
歩道整備事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。
交通安全施設整備事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待通りの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

16-01-④

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】								
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8				
		偏差値	65.4	68.3				
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4				
		偏差値	55.4	60.3				
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								
客観指標No. (令和7年度)		40						備考

■施策評価シート

16-01-⑤

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	16-01-⑤	施策名	道路施設の長寿命化と維持管理	

施策の概要

道路の適正な状態を維持するため、道路パトロールを行いながら日常の維持管理に努めるとともに、橋梁等の道路施設の計画的かつ効率的な点検・修繕を行います。

成果指標(単位)	舗装修繕計画に基づく舗装補修工事実施延長(m)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	1,590	2,000	1,050	1,050
実績値	730	2,621			

成果指標実績に対するコメント

舗装の補修が必要な区間の工事を計画通り完了させ、良好な道路環境を維持することができた。

施策の達成度評価

道路パトロールや道路の維持補修を日常的に行い、良好な道路環境を維持するとともに、舗装補修の他、橋梁等の道路施設についても計画的に点検および修繕工事を実施することができた。

当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、良好な道路環境を維持するとともに、道路施設の計画的な点検および修繕工事を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

今後も引き続き、道路パトロール等の日常的な維持管理を行うとともに、舗装や橋梁等の道路施設の点検結果を踏まえた修繕を計画的に実施することで、良好な道路環境を維持していく。

当該施策は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
道路維持補修事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。
道路パトロール事業	道路課	○	計画通り事業進捗を図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
官民境界確定事務	土木管理課
道路台帳整備事業	土木管理課
道路等管理事務	土木管理課
未登記路線測量登記事務	土木管理課
道路関係団体負担金事務	道路課
道路等管理事務	道路課
交通安全施設維持管理事業	道路課
草津駅前広場等維持管理事業	道路課
土木設計積算システム事務	道路課
南草津駅前広場等維持管理事業	道路課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

16-01-⑤

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8					
		偏差値	65.4	68.3					
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4					
		偏差値	55.4	60.3					
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									
客観指標No. (令和7年度)									備考

■施策評価シート

16-01-⑥

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	道路
基本方針	安全・安心な道路の整備		基本方針に関連するSDGsの目標	  
施策番号	16-01-⑥	施策名	バリアフリー化の促進	

施策の概要 安全で快適に移動できる環境を整えるため、JR草津駅と南草津駅を中心とする重点整備地区内の歩道等のバリアフリー化を促進します。
--

成果指標(単位)	重点整備地区内での歩道のバリアフリー化実施延長(m)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	270	240	270	270
実績値	480	146			

成果指標実績に対するコメント 歩道のバリアフリー化事業は交付金を充当して順次実施しており、当該年度の内示額に合わせて実施した結果、目標値に対する実績値が低くなった。しかしながら、実施した路線ではこれまで継続してきた工事を完了させ、効果発現をさせることができた。
--

施策の達成度評価 草津駅周辺の重点整備区域内の歩道のバリアフリー化を行い、移動円滑化を図った。 当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」であり、偏差値の上昇幅は最大で4.9ポイント、当該指標の実数についても0.1ポイント上昇した。こうした結果を踏まえ、引き続き、草津駅周辺の重点整備区域内の歩道の移動円滑化を図る。
--

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方 今後も引き続き、草津市バリアフリー基本構想に基づき、進捗を図るため交付金をしっかりと要望しつつ、草津駅周辺の重点整備区域内の歩道等のバリアフリー化を行い、移動円滑化を図る。 当該施策は、「No.23 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」、「No.31 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する施策であり、引き続き、事業を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
歩行空間バリアフリー化事業	道路課	○	当該年度に実施した路線においては予定内容を完了させ、効果を発現させることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート

16-01-⑥

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
23	私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある	実数	3.8	3.8			
		偏差値	65.4	68.3			
31	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である	実数	3.3	3.4			
		偏差値	55.4	60.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		40							

17.上下水道に関する施策

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	上下水道
基本方針	水の安定供給		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	17-01-①	施策名	上水道施設の更新・災害対策と維持管理	

施策の概要

安全で安定した水を供給するため、浄水場や配水管等、水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理を行います。

成果指標(単位)	基幹管路の耐震適合率(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	43.2	44.9	46.6	48.1
実績値	39.4	39.8			

成果指標実績に対するコメント

基幹管路の耐震化を取り組んだ結果、実績値は目標値に比べ3.4ポイント低く、目標値を達成することができなかった。
目標達成に向け耐震工事に取り組みましたが、人件費や資材が高騰したことや、基幹管路以外の老朽化した管路の更新にも取り組んでおり、計画どおり進捗が図ることができず目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価

第2次草津市水道ビジョンおよび水道事業経営計画に基づき、水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理に努めた。
引き続き、効率的に上水道施設の更新・災害対策と維持管理を実施していく。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標として、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」があり、偏差値が60を上回る結果であった。
上水道施設の更新・災害対策や維持管理を計画的かつ迅速に取り組むことで高い偏差値であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、事業を実施していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

第2次草津市水道ビジョン〔経営計画(経営戦略)〕に基づき、上水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理に努める。

第2次草津市水道ビジョン〔経営計画(経営戦略)〕に基づき事業の進捗を図ることが「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」という指標にかかるウェルビーイングの向上に資する取組である。引き続き高い水準が保てるよう、上水道施設の更新・災害対策や適切な維持管理を実施していく。

■施策評価シート

17-01-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
給配水管修繕事業	上下水道施設課	○	計画的に水道施設の点検・調査を行い必要に応じて修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。
配水管更新事業	上下水道施設課	○	草津市水道ビジョンに基づき、配水管の計画的な更新と災害対策を実施した。
浄水場施設管理事業	北山田浄水場	○	安全でおいしい水を安定して供給するために、計画的に水道施設の点検を行い、必要に応じて修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。
浄水場施設管理事業	ロクハ浄水場	○	安全でおいしい水を安定して供給するために、計画的に水道施設の点検を行い、必要に応じて修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。
浄水場施設整備事業	北山田浄水場	○	草津市水道ビジョンに基づき、浄水場の計画的な更新と災害対策を実施した。
浄水場施設整備事業	ロクハ浄水場	○	草津市水道ビジョンに基づき、浄水場の計画的な更新と災害対策を実施した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
上水供給事務	北山田浄水場
浄水場維持管理事業	北山田浄水場
浄水場運転管理事業	北山田浄水場
水質検査事業	北山田浄水場
給配水管維持管理事業	上下水道総務課
量水器取替事業	上下水道総務課
上水供給事務	ロクハ浄水場
受水事業	ロクハ浄水場
浄水場維持管理事業	ロクハ浄水場
浄水場運転管理事業	ロクハ浄水場
水質検査事業	ロクハ浄水場
給配水管維持管理事業	給排水課
配水給水事務	給排水課
給水管整備更新事業	上下水道施設課
給配水管維持管理事業	上下水道施設課
水道台帳管理事業	上下水道施設課
配水給水事務	上下水道施設課
配水管移設事業	上下水道施設課
路面復旧事業	上下水道施設課
水道企画経理事務	上下水道施設課
配水管整備事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
	偏差値	62.6	66.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)								

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	上下水道
基本方針	水の安定供給		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	17-01-②	施策名	上水道事業の健全経営	

施策の概要
持続可能な水道事業運営のため、経営の効率化を図るとともに、健全な事業経営を行います。

成果指標(単位)	配水した水のうち、使用料を徴収する対象となった水量の割合（有収率 %）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	96.9	96.9	96.9	96.9
実績値	96.9	96.6			

成果指標実績に対するコメント
目標値をわずかに下回る結果となったが、第2次草津市水道ビジョン〔経営計画(経営戦略)〕に基づく計画値(93.0%)や、全国平均(89.2%)を上回っていることから、無駄なく効率的な配水ができており、水道事業の収益に結びついているものとする。

施策の達成度評価
管路の老朽化が進む中、限られた料金収入や人員体制の中でも、管路の更新工事、漏水調査や修繕などを計画的に行うとともに、漏水等の通報があった際には、可能な限り速やかに修繕等の対応を行った結果、大規模な漏水等もなく、高有収率の維持に一定の効果を得る事ができた。
—

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、管路の更新工事、漏水調査や修繕などを計画的に行い、漏水等の通報があった際には、可能な限り速やかに修繕等の対応を行っていく一方で、管路の老朽化は今後さらに進んでいくため、令和7年度に実施した人工衛星を活用した漏水調査業務の効果検証を踏まえながら、限られた料金収入や人員体制の中で、より効果的かつ効率的に漏水調査や修繕等を行い、高有収率を維持できる手法がないか検討を行ってきたい。
—

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
水道企画経理事務	上下水道総務課	○	管路の老朽化が進む中、限られた料金収入や人員体制で、健全経営を維持しながら、無駄なく効率的な配水ができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
水道啓発事務	上下水道総務課
水道総務事務	上下水道総務課
水道料金徴収事務	上下水道総務課
受水事業	上下水道総務課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		実数					
		偏差値					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

■施策評価シート 17-02-①

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	上下水道
基本方針	下水道の安定運営		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	17-02-①	施策名	下水道施設の更新・災害対策と維持管理	

施策の概要
快適な生活環境を保全するため、下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理を行います。

成果指標(単位)	重要な幹線等の耐震化率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	66.5	67.8	69	70.4
実績値	63.3	74.5			

成果指標実績に対するコメント
重要な幹線等の耐震化を取り組んだ結果、実績値は目標値に比べ8.0ポイント高く、目標値を達成することができた。 下水道事業第9期経営計画に基づき、効果的に下水道施設の災害対策を推進できたため、目標値を達成することができた。

施策の達成度評価
下水道事業第9期経営計画に基づき、下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、適切な維持管理に努めた。 引き続き、効率的に下水道施設の更新・災害対策と維持管理を実施していく。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標として、「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」があり、偏差値が60を上回る結果であった。 下水道施設の更新・災害対策や維持管理を計画的かつ迅速に取り組むことで高い偏差値であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、事業を実施していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
下水道事業第9期経営計画に基づき、下水道施設の計画的な更新と災害対策を進めるとともに、下水道施設の適切な維持管理に努める。
下水道事業第9期経営計画に基づき事業の進捗を図ることが「No.29 私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」という指標にかかるウェルビーイングの向上に資する取組である。引き続き高い水準が保てるよう、下水道施設の更新・災害対策や適切な維持管理を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
污水管渠等維持管理事業	上下水道施設課	○	計画的に下水道施設の点検を行い、必要に応じて修繕を実施し、適切な維持管理に努めた。
污水管渠整備事業	上下水道施設課	○	下水道事業第9期経営計画に基づき、管更生工事や耐震対策工事を行った。

■施策評価シート 17-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
流域下水道事業費負担金事務	上下水道施設課
污水管渠等維持管理事業	給排水課
行政区域外流出負担金事務	上下水道総務課
流域下水道維持管理負担金事務	上下水道総務課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】								
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3				
		偏差値	62.6	66.0				
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】							備考	
客観指標No. (令和7年度)								

■施策評価シート 17-02-②

まちづくりの基本目標	「暮らし」支えるまち		分野	上下水道
基本方針	下水道の安定運営		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	17-02-②	施策名	下水道事業の健全経営	

施策の概要
持続可能な下水道事業運営のため、経営の効率化を図るとともに、健全な事業経営を行います。

成果指標(単位)	処理した汚水のうち、使用料を徴収する対象となった水量の割合（有収率 %）				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	91.2	91.2	91.2	91.2
実績値	91.2	93.5			

成果指標実績に対するコメント
目標値を上回る結果となったとともに、草津市下水道事業第9期経営計画(経営戦略)に基づく計画値(84.0%)や、全国平均(80.0%)を上回っていることから、無駄なく県の湖南中部浄化センターで排水処理ができており、湖南中部処理区の各市町が処理水量に応じて負担する維持管理負担金について、適正な処理水量に応じた負担金に結びついているものとする。

施策の達成度評価
有収率の増加は、降雨量に起因する部分が大いだが、本市において継続して不明水対策を実施していることが、有収率の増加に一定の効果をj得ることができているものとする。
—

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、本市において不明水対策を計画的に実施していく一方で、不明水対策は、滋賀県と湖南中部処理区各市町の全体での取り組みが重要であることから、滋賀県が中心となり各構成市町と連携し、より効果的かつ効率的な不明水対策の実施について検討を行ってきたい。
—

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
下水道推進事務	上下水道総務課	○	不明水量の減少により維持管理負担金の減少につながり、健全な経営を行うことができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
污水管渠等維持管理事業	上下水道総務課
水洗便所改造資金貸付事業	上下水道施設課
下水道使用料賦課徴収事務	上下水道総務課
受益者負担金等賦課徴収事務	上下水道総務課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
		実数					
		偏差値					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									